

2. 戦略推進調査

2-1 北東アジアとの観光交流に向けた効果的な推進方策の検討

前章までで観光におけるポテンシャル、課題及びその解決へ向けた取り組みの方向性を明らかにした。本章では観光交流の推進方策について、中国圏及び各種旅行商品に共通する受入れ態勢や観光情報に関する推進方策、観光ターゲットとして重視する教育旅行の推進方策、及び韓国と山陰の特性を活かした推進方策等を検討し、提案する。

(1) 受入れ地の態勢づくりの推進

受け入れ態勢が不十分という課題に対応するには、訪れた外国人旅行者が安心して観光を楽しむことができ、また訪れたいと思えるような受入れ態勢を整えるため、日本らしい（山陰らしい）もてなしの心を最大限に残しつつ国際的にも通用する観光地としての一級のもてなしを提供できる環境づくりを進める必要がある。

また、3月24日に開催された「アジア国際交通ネットワーク形成ワークショップ in 境港」における環日本海経済研究所特別研究員三橋郁雄氏による基調講演においても、「北東アジア諸国の人々は、日本の治安のよさ、平和外交主義での経済成長達成へ信頼と憧憬を持っていることから、日本を見たいと考えている人々を招き、交流を進めることが重要」との趣旨の指摘がなされており、経済交流以前に、信頼しあう相互関係構築を目指して受入れ態勢を整えていく必要がある。

そのため、外国人旅行者が不自由なく観光を楽しめるよう、国・県・市町村をはじめとする関係機関が協力し、次のような方策を推進する。

まず、観光案内や主要観光施設、宿泊施設等においては、英語を中心とした案内やサポートを可能とすることはもとより、英語圏以外で多くの観光客が期待できる韓国語・中国語についても十分に対応できるように態勢を整える。

また、ホームページや観光パンフレット、主要施設内のサイン等については、外国語（英語、韓国語、中国語）による最新の情報が発信できるよう、ハード・ソフトの両面から機能充実を図っていく。

さらに、主要交通機関（鉄道駅、バスターミナル、空港、港）における交通ネットワークを整備するとともに、出発・到着時間、便数、移動時間、乗り継ぎ等に配慮して交通利便性を高め、外国人旅行者の移動が容易となるようにしていく。

<外国人旅行者用パンフレット>

○外国人旅行者ひとり歩き用案内リーフレット（JNTO）

ひとり歩きの訪日外国人旅行者（外国人観光客）に利用いただくために必要な最低限の情報（交通の便、旅行ルート、主な見所、料飲・宿泊施設等）を網羅した実用的な旅行案内リーフレット「Practical Travel Guides」（英語 67種）を発行している。

このシリーズには、全国の主要観光地の他に、産業観光、キャンプ場、温泉等のテーマ別の資料も含まれている。



＜外国人用観光ホームページ＞

OKYOTO OFFICIAL TRAVEL GUIDE（京都市）

京都市観光協会や市内の観光事業者等と共同で、英文観光ホームページを開設。

英語ネイティブライターの執筆で読みやすく、外国の自宅に居ながらにして、宿泊施設や航空券の予約が可能、金閣寺、茶道、祇園祭、寿司といった外国人観光客に人気の高い観光情報等を「100 セレクション」や交通案内、1日モデルコース等京都を訪問するに当たっての実用的な情報をコンパクトに掲載している。



(2) 訪日旅行先としての中国圏（特に山陰）の認知度の向上、積極的誘客の推進

将来的に、団体旅行から個人旅行への転換がさらに進み、客層が一層多様化するとみられていることから、新たな客層の取り込みやリピーターの獲得に向け、国・県・市町村や関係団体が一丸となって海外観光客誘致における厳しい地域間競争に打ち勝っていかねばならない。しかしながら、現状では中国圏(特に山陰圏)は訪日旅行先としての認知度が低く、まずは認知度の向上が課題となっている。

そこで、国が実施している「ビジット・ジャパン・キャンペーン」による海外観光客の日本への誘致に、県・市町村・関係団体等が積極的に関わりながら、韓国メディア（マスコミ、現地情報誌インターネット等）などを活用し、中国圏独自の魅力となる「自然」「食」「文化」などの観光資源のPRや、ビジュアル的にもインパクトのあるものとして四季を通じた地域の魅力を発信、韓国でのイベントによるキャンペーンなどに積極的に取り組み、認知度の向上を図る必要がある。

＜外国での観光PR＞

“コナンのふるさとPR 観光客誘致へ訪台団”

地域活性化に取り組むNPO法人「とっとり希望化計画21」と鳥取県北栄町は、同町出身の漫画家、青山剛昌さんの「名探偵コナン」などを台湾にアピールして観光客を誘致するため、訪問団を台湾に派遣した。（中略）

訪問団は同NPOと町のほか、台湾に農産物を輸出しているJA、兵庫県新温泉町を含めた県内外の観光協会など官民の団体で構成され、米子空港などにプログラムチャーター便を運航している航空会社や大手旅行社を訪れ中国語で編集された観光プロモーションビデオや同館のコナングッズを使って観光客の誘致活動を展開した。（後略）

（日本海新聞 2008年1月9日）

“韓国で沖縄観光PR”

東アジアを中心とした誘客戦略モデルを構築する国庫補助の「国際観光地プロモーションモデル事業」の一環として、ソウル市中心街の複合商業施設「COEXモール」にて、糸満市を拠点に活動する「古武道太鼓集団・風之舞（かじまい）」が創作エイサーを勇壮に演舞。県出身の3人組女性グループ「ういずあす」が歌声を響かせた。（中略）

黒糖などの物産が展示されたほか、琉球ガラスの玉を使って携帯ストラップを作るコーナーが家族連れでにぎわった。大型画面には沖縄の海や文化を紹介する映像が映し出され、県職員らがパンフレットを配った。沖縄行きの往復航空券が当たる抽選会も行われた。（琉球新報 2009年3月1日）



(3) 中国圏における観光情報データの調査収集と整備活用

外国人観光客の誘致に向けた取り組みを効果的に推進していくためには、外国人観光客に関する各種統計（外国人観光客数、観光動態、観光消費額等）や調査結果を活用し、満足度やニーズを的確に把握することが重要となってくる。

しかしながら現状では、県・各市町村がそれぞれの統計情報等を管理しており、また、データの種類等も十分ではないことから、必要な情報が必要なときに容易に手に入らない場合も多い。

そこで、観光など広域的に取り組む必要がある基礎的データについては、中国圏として各県、各市町村が連携し、観光関係団体や事業者の協力を得ながら、量・質ともにデータの充実に努め、一元管理を行うことにより、関係者が迅速かつ容易に情報入手できる体制を構築する。こうした体制構築により、これら観光情報データを活用した観光マーケティングやサービスの政策立案を促進し、施策の効果を高めていくようにする。

(4) 大学等を活用した人材の育成

旅行者がリピーターとなる観光地の魅力の一つとして、食や観光施設などいわゆる観光資源だけでなく、人と人とのつながりや関わりが重きを占める。特に外国人観光客の場合、異文化の魅力をどのように理解してもらいアピールしていくかが観光の付加価値となるが、その実現のため、行政が主体となった取り組みだけでなく、地元の人たちが積極的に旅行者をもてなすという意識醸成を行うことが求められる。これは、韓国におけるヒアリング調査結果において、交流が重視されていることが判明したことによっても裏付けられる。

そこで、若い世代が積極的に国際交流に関わっていけるよう、中学校・高校等の海外教育旅行などにおけるホームステイ等を積極的に取り入れ、語学はもとより、外国の生活習慣や文化、国民性に直接触れる機会を提供し、異文化への理解と関心を高めるとともに、さらには、語学や文化を学んだ学生が、インターンシップ制度を活用して、観光業や旅行業等を体験する機会を提供するなど、国際交流の担い手となるような人材育成に取り組んでいく。

<大学間交流>

○島根大学と交流協定を結ぶ韓国の慶尚大学（慶尚南道）

本研修は 1991 年に両校が交流協定を結んで以来長年推進してきたもので、その間島根大学から慶尚大学校へは 185 人、逆に慶尚大学校から本学へは 206 人が研修に参加している。

互いに、語学学習や観光名所の見学、ホームステイなどにより、幅広い文化交流を深めている。



出典：島根大学ホームページ

(5) 訪日教育旅行の受入れ態勢の充実

教育旅行対応商品を開発しただけにとどめず、その商品を安心して快適に楽しめるよう訪日教育旅行の受入れ態勢を整える必要がある。

学校間の連携・交流を進めるだけでなく、学校と宿泊施設や各種観光施設との連携などに努め、特に相互文化への理解と関心を高め国際交流意識の醸成に大きく貢献すると期待できるホームステイの受入れ態勢を充実させるため、ホームステイ組織の整備に取り組む。

1 学年単位の教育旅行では 100 人以上の団体旅行となり、ホームステイを可能とするには、100 人規模の態勢が必要となり、民間のさまざまなホームステイ組織の協力が必要となる。中国圏では、広島県（特に広島市）でしかそのような態勢が実現できておらず、個々の民間のホームステイ組織の育成支援と連携体制の構築に取り組む。

<ホームステイ組織>

○甲南大学交流センター

大学が主体となったホームステイ組織（国際交流センター）により、ホームステイプログラムの提案やホームステイ先の斡旋などを 30 年余りにわたり行っている。



出典：甲南大学ホームページ

(6) 中国圏（特に山陰）の特徴を活かした魅力づくりと教育旅行商品の開発

①韓国と山陰の歴史的文化的な交流遺産を活かした観光交流の推進

「たたら」とは、日本の古代製鉄法であり、奥出雲地方と安来地方は、日本のたたら発生の地と言われ、特に良質な鉄が産出され、今なお全国で唯一たたら製鉄が行われている。

そして、これらの地方は「鉄の道文化圏」として、かつての鉄の生産と輸送の道筋にあたり、鉄に関わる文化や神話を共有している。

また、妻木晩田遺跡などでは、朝鮮半島からもたらされたと考えられる鉄器が多数発見されており、たたらを通じた朝鮮や中国大陸からの渡来人の交流を物語っている。古事記にも記述されている山陰地方の神話などとともに、出雲・山陰地方の神秘性、朝鮮や中国大陸との歴史の奥深さを現している。

さらに、豊臣秀吉の朝鮮侵攻により、断絶した朝鮮との国交が、徳川家康により回復し朝鮮から使節が派遣されたのが始まりだとされる「朝鮮通信使」は、その後 200 年間 12 回続き、400～500 人の大行列が日本、瀬戸内を往来し、文化交流を深めた遺産がゆかりの地に残されている。

これら、韓国と中国圏の深い歴史的、文化的つながりは訪日教育旅行における大きな魅力として活かしていくことが効果的であり、3 月 24 日に開催された「アジア国際交通ネットワーク形成ワークショップ in 境港」でのディスカッションにおいてもその必要性を指摘する意見が多く見られた。

〈たたら文化ゆかりの神社、遺跡等〉



出典：鉄の道文化圏推進協議会作成パンフレット及び島根県、鳥取県HPより作成



②アジア大陸の一部としての地質遺産を活用した観光交流の推進

鳥取県の浦富海岸は、海水等の侵食による花崗岩の断崖、奇岩、洞門が続き、海面上に大小の島や岩が散在する風景が宮城県の松島に似ていることから「山陰の松島」と呼ばれるほど、日本海屈指の自然景勝地となっており、島巡り遊覧船でも楽しむことができる観光名所である。

このような特異な海岸の形成過程をみると、浦富海岸には山陰海岸の最古の地層である約1億年から7000万年前の花崗岩が残っており、日本がかつてアジア大陸の一部であったことを確認できる貴重な地質遺産である。かつて日本が韓国と地続きであり、また、山陰海岸がアジア大陸との分裂が始まった場所であったことを物語っており、大陸とのつながりを彷彿させる自然景観をかもし出している。

これ以外にも、兵庫県から京都府にかけての山陰海岸には、アジア大陸から分裂し、日本海と日本列島が形成されていく過程の地質遺産が多数残っており、京都府京丹後市の経ヶ岬から鳥取市湖山池西端の白兔海岸丘までを対象に、日本海形成と日本列島弧誕生の地質遺産「山陰海岸ジオパーク」として、鳥取県、兵庫県等の関係自治体等が世界ジオパークネットワークの加盟に向けて取り組んでいるところである。

以上から、アジア大陸の分裂地点（日本列島形成の始発点）としてこれらの地質遺産を観光資源として活用し、学術研究等による交流や、かつて日本と韓国が地続きであったことへの想いを深めるような地質学ツアーなどのメニューを開発し、訪日教育旅行として韓国へと提案していくことが効果的である。



城原海岸(鳥取県岩美町)



浦富海岸(鳥取県岩美町)

出典:鳥取県、岩美町ホームページより

③アニメをはじめとする若者文化を通じた観光交流推進

韓国では、日本製のアニメや漫画、ゲームなどが多数紹介されており、日本と同様、即売会（コミケ）なども開催され、日本アニメ等に対する関心度は高く、また、韓国独自のアニメ文化も世界で評価されており、海外へも輸出されている。

特に、冬のソナタの舞台となった春川市は、1997年政府から「漫画都市」に指定されており、アニメ産業を展開し、アニメーション博物館も整備している。

一方、山陰には、日本を代表するアニメ文化を活かした観光地が育ってきており、境港市の「水木しげるロード」は鳥取県内では、鳥取砂丘を抜いて県内第一位の年間100万人を超える観光客が訪れる地となっている。

また、「コナンの里」や「広島市まんが図書館」などもあり、中国圏の新しい文化コンテンツとなりつつある。

このように、アニメ文化を通じた韓国と中国圏との新たな展開が期待できる。

そのため、次代を担う若者の新たな文化交流・観光交流を推進していくうえで、アニメ文化の積極的活用を図る。また、アニメは、両国の若者たちのコミュニケーション向上に効果的であり、訪日教育旅行においても高い満足度を与えるものと期待される。



<韓国のアニメ文化>



ゴーストフェイス

画伯の花嫁

宮

アイランド



<水木しげるロード>

○妖怪漫画家水木しげるの出身地である縁で、120体の妖怪ブロンズ像が境港駅から「水木しげる記念館」へと誘っている。



写真: 訪日教育旅行の韓国高校生 (NHKワールドより)

<コナンの里>

○「名探偵コナン」の原作者青山剛昌の出身地である縁で、コナンのオブジェが設置されたコナン通りがあり、「青山剛昌ふるさと館」もある。



<広島市まんが図書館>

○人気ガイドブック「ロンリープラネット」に掲載されたことから、外国人観光客が急増しており、現在は年間300人以上の利用がある。



(7) フェリー利用の東海市・江原道と山陰の近い観光交流の推進

山陰には多様な観光資源が存在しているが、それらは分散しているため、ネットワーク化し、食・温泉・自然・歴史文化遺産など主要観光地を結んだ個性ある観光ルートを開発することが望ましい。また、一般的によく知られる、韓国人はせっかちであるという気質からも、ネットワーク化の実現にあたっては、主要ターミナルや駅から観光地まで、また観光地間の交通アクセスを整備・充実し、長距離移動負担の軽減化（物理的時間・心理的時間の軽減）をはかる必要がある。

さらに、訪日教育旅行にとどまらず広い層の誘客のためには、次に掲げる観光資源の発掘・活用が効果的である。

①韓流スターロケ地誘致による観光交流の推進

韓国江原道は、山と海、川、溪谷、湖、天然洞窟など美しい自然に恵まれた観光地としてだけでなく、映画やドラマのロケ地としても有名である。特に日本でも有名な「冬のソナタ」のロケ地（韓国春川市）は観光コースにも組み込まれており、東海市のそれまで観光地とは認識されていなかった浜辺もロケ地であるということで一躍脚光を浴びている。

一方、瀬戸内海には、尾道市などのように映画ロケ地が観光地としてPRされているケースもあるが、山陰ではあまり知られていない。

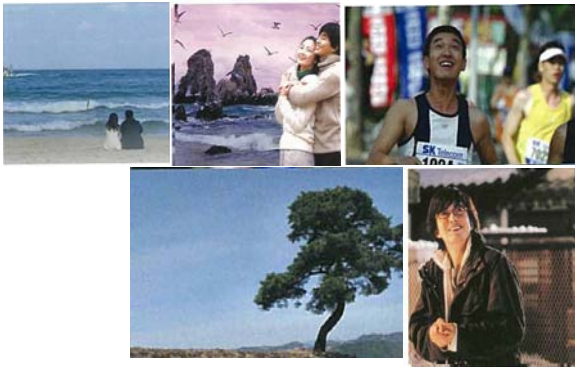
そこで、山陰を舞台にした日韓映画ドラマ、例えば、冬のソナタの監督など韓国で著名な監督を招聘し、韓流映画スターとの共演による新航路を取り入れた映画制作をしてもらうことが考えられる。映画制作により、韓国国内へのPRや世界への情報発信効果をもたらすだけでなく、映画ロケ地を新たな観光資源として創出し、観光交流の推進に役立てていくことができ、映画制作費以上の経済効果をもたらす可能性がある。



出典:韓国江原道庁パンフレットより作成

<江原道はロケ地の宝庫>

【映画・ドラマの中の江原道の風景】



【冬のソナタロケ地は観光名所（東海市）】



【江原道ドラマギャラリー】



②日韓ツーリング及びトレッキングを通じた観光交流の推進

日本では90年代以降、余暇活動の一つとしてアウトドアブームが続いているが、近年において、団塊の世代を中心にキャンピングカーによるキャンプがブームとなっている。韓国においても同様な傾向が見られ、2008年には韓国の加平（カピョン）で世界のキャンパーが集まるFICC（国際キャンピング・キャラバニング連盟）の世界大会が開催されている。なお、この大会には、日本からも多くのキャンパーが釜山経由で参加しているが、境港～東海港フェリー航路の利用も期待される。

また、東海市は、韓国初のオートキャンプ場が整備された地（望祥（マンサン）海水浴場）でもあり、2002年には、上記FICCの第64回大会が開催されている。

一方、鳥取県は大山トレッキングで知られる地であり、キャンプ場・オートキャンプ場も数多くある。また、県は、韓国旅行客向けに大山トレッキングを商品化するための招請ツアーの実施や、アウトドア用品企業との連携による韓国山岳関係訪問団の受入れに取り組んでいるところである。

そこで、山陰に数多くあるオートキャンプ場を中心とした野営施設を活用し、大山トレッキングや温泉を目玉とした日韓ツーリングの開催を企画することが効果的である。



<FICC 世界大会 2008>



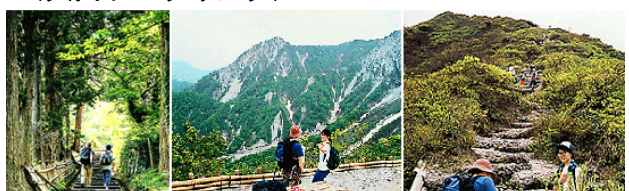
<望祥（マンサン）オートキャンプリゾート>



<鳥取県・島根県のオートキャンプ場>



<大山トレッキング>



出典：(社)日本オートキャンプ協会ホームページ

③世界的に知名度の高い観光資源を活かした観光交流の推進

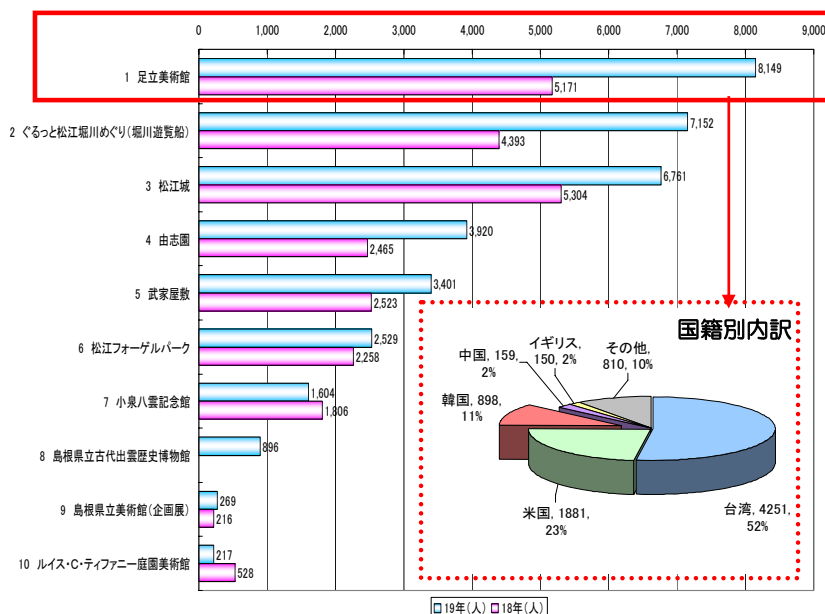
世界的に著名な観光施設は、訪日外国人観光客にとって魅力があり、有力な観光資源である。また、世界的な名画を収蔵する美術館の中には、多少不便な場所にあっても、それを見たさに多くの人を訪れる例がある。

安来市に所在する足立美術館は世界的に知名度が高く、誇るべき観光資源だが、そのような日本一、あるいは「世界にここだけ」というものをできるだけ多く創出する、あるいは既存の観光資源を世界レベルの質に高めていくことにより、傑出した観光資源を点から線につなげ新たな観光ルート開発をしていくことが効果的である。

<足立美術館>

○枯山水庭を中心とする 50,000 坪の広大な日本庭園であり、苔庭、池庭、白砂青松庭など名画のような多様な庭園が広がる。

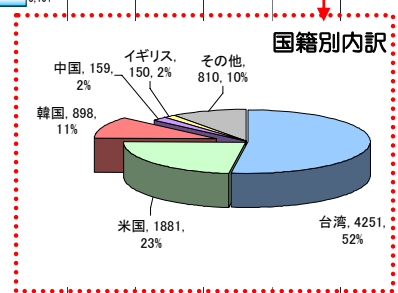
○アメリカの日本庭園専門誌の日本庭園ランキングにおいて、6年連続第1位となっている。



6年連続 庭園日本一

全国803ヶ所の候補の中から、6年連続で「庭園日本一」に選ばれました。

足立美術館の名を冠し「日本一」を冠した。2019年度の日本庭園専門誌「SUKIYA LIVING」の日本庭園ランキングで、6年連続で「庭園日本一」に選ばれました。



出雲・松江地区観光施設外国人入込客数 出典：島根県観光振興課資料より

<ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン>

○観光地で、山陰地域では「松江」が二つ星評価を獲得。

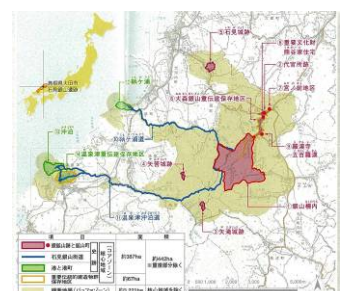
○他にも中国圏全体では「宮島」等の評価が高い。

○日本庭園で、足立美術館が最高評価の三ツ星に選定、美術館としても二つ星に選定された。



<世界遺産 石見銀山>

○2007年7月に「石見銀山遺跡とその文化的景観」として、鉱山遺跡としてはアジアで初めて世界遺産登録。



(8) 他圏域との広域観光連携の推進

中国圏は、四国圏、九州圏、近畿圏とともに瀬戸内海を共有している。瀬戸内海は、美しい自然風景や魅力ある多島美に恵まれ、瀬戸内海クルーズなどの国際的な周遊観光や温暖な気候や新鮮な食材を活かした体験型観光・滞在型観光などを多様な観光展開が期待できる。

また、圏域それぞれが、豊かな自然や個性ある食文化、自然と調和した歴史あるまちなみ、神社仏閣などを有しており、さらに、原爆ドームや厳島神社、石見銀山といった世界遺産があることから、瀬戸内の景観、自然、歴史、文化、まち並みなどの多彩な資源を活かした、国内外に通用する第一級の観光地のポテンシャルを有している。

3月24日に開催された「アジア国際交通ネットワーク形成ワークショップ in 境港」における事例研究成果の要点としても、こうした地理的位置、豊富な自然等が資源として指摘されているところである。

そのため、四国圏、九州圏、近畿圏との連携による瀬戸内海観光をアピールする多様な観光メニューの開発により、中国圏への観光客誘致の拡大を図っていく。

同様に、日本海側においても、環日本海の他圏域の観光圏との連携も進め、日本海観光をアピールする多様な観光メニューの開発により、中国圏への観光客誘致の拡大を図っていく。

このような日本海側及び瀬戸内海側の広域的な観光連携を進め、観光PRすることにより、中国圏へのインバウンド観光の増進を図っていく。

2-2 広域観光ルート形成

韓国からの観光客(一般、教育旅行)に向けた2泊3日の旅行日程を想定し、広域観光ルートを設定する。

広域観光ルートの設定にあたっては、課題と取り組みの方向性を踏まえて、韓国と山陰の観光交流を基本とする山陰ルートを軸に、山陽の瀬戸内海側のルート及び日本海側のルートを組み合わせて、中国圏の地域特性を活かした多様な観光資源をつなぐ広域観光ルートを形成する。

(1) 山陰観光ルート

<観光テーマ>

「日本の若者文化や伝統と、美しい自然を巡る」

- ・韓国の若者の関心が高い、日本のアニメを基にした観光地である「水木しげるロード」や「コナンの里」を訪れる。
- ・鳥取、島根の温泉、大山、海岸景勝地などの自然を楽しむ。

<観光ルート>

東海(韓国) ⇒ 境港 ⇒ 大山・鳥取砂丘・三朝温泉(泊) ⇒ 石見银山 ⇒ 出雲大社・玉造温泉(泊) ⇒ 米子 ⇒ (航空機) ⇒ ソウル

<ルート上の主要観光施設>

主要観光地・施設	所在地	施設概要
みずき 水木しげるロード	鳥取県境港市	・アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する妖怪たちのブロンズ像 130 体以上を展示
かいけおんせん 皆生温泉	鳥取県米子市	・観光旅館など 40 軒、5 千人の収容規模を誇る、山陰最大の温泉地
はなかいろう とっとり花回廊	鳥取県西伯郡南部町	・日本最大級のフラワーパーク
だいせん 大山	鳥取県西伯郡大山町	・大山隠岐国立公園にある中国地方の最高峰 ・四季折々の景色やスキー場など様々な側面を持つ
にっかんゆうこうこうりゆうこうえん 日韓友好交流公園	鳥取県東伯郡琴浦町	・鳥取県と韓国との交流を記念し、日韓友好の永続を願って整備された公園
さと コナンの里	鳥取県東伯郡北栄町	・アニメ「名探偵コナン」をテーマにした通りや橋を有する
みさきおんせん 三朝温泉	鳥取県東伯郡三朝町	・世界屈指のラジウム含有量を誇る山の温泉
みとくさんさんぶつじ 三徳山三佛寺 なげいれどう ・投入堂	鳥取県東伯郡三朝町	・「投入堂」は、絶壁の窪みに建てられた他に類を見ない建築物で、国宝に指定 ・三徳山は、国の名勝、史跡に指定
とっとりさきゆう 鳥取砂丘	鳥取県鳥取市	・日本最大規模の砂丘で、国の天然記念物に指定
いわみぎんざん 石見银山	島根県大田市	・戦国時代後期から江戸時代前期にかけて最盛期を迎えた日本最大の银山 ・ユネスコの「世界遺産」に登録

主要観光地・施設	所在地	施設概要
さんべさん 三瓶山	島根県大田市	<ul style="list-style-type: none"> ・大山隠岐国立公園に指定されており、「三瓶山自然林」は、国の天然記念物に指定 ・キャンプ場や研修施設など多くの観光施設を有する
いずもたいしゃ 出雲大社	島根県出雲市	<ul style="list-style-type: none"> ・日本最古の神社建築を誇る ・国宝や重要文化財の指定を受けた施設を有する
たまつくりおんせん 玉造温泉	島根県松江市	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代初期に開かれた日本最古の歴史を持つ温泉
あだちびじゅつかん 足立美術館	島根県安来市	<ul style="list-style-type: none"> ・枯山水庭を中心とする5万坪の広大な日本庭園 ・米国の専門誌の日本庭園ランキングで6年連続1位

(2) 山陽観光ルート

<観光テーマ>

「韓国と中国圏の歴史文化の交流遺産と、美しい自然を巡る」

- ・朝鮮通信使ゆかりの地である「牛窓」・「鞆の浦」を訪れ、韓国と中国圏の交流の歴史を学ぶ。
- ・瀬戸内海の自然、景観を楽しむ。
- ・岡山県の倉敷美観地区や、広島県の尾道市、広島市、宮島など観光都市を楽しむ。

<観光ルート>

東海(韓国) ⇒ 境港 ⇒ 大山・三朝温泉(泊) ⇒ 牛窓・倉敷 ⇒ 鞆の浦・しまなみ(泊) ⇒ 広島 ⇒ (航空機) ⇒ ソウル

<ルート上の主要観光施設>

主要観光地・施設	所在地	施設概要
みずき 水木しげるロード	鳥取県境港市	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する妖怪たちのブロンズ像130体以上を展示
かいけおんせん 皆生温泉	鳥取県米子市	<ul style="list-style-type: none"> ・観光旅館など40軒、5千人の収容規模を誇る、山陰最大の温泉地
むきぼんだいせき 妻木晩田遺跡	鳥取県西伯郡 大山町	<ul style="list-style-type: none"> ・日本最大級の弥生時代の集落跡 ・朝鮮半島からもたらされたと考えられる鉄器が多数発見されている
だいせん 大山	鳥取県西伯郡 大山町	<ul style="list-style-type: none"> ・大山隠岐国立公園にある中国地方の最高峰 ・四季折々の景色やスキー場など様々な側面を持つ
みさきおんせん 三朝温泉	鳥取県東伯郡 三朝町	<ul style="list-style-type: none"> ・世界屈指のラジウム含有量を誇る山の温泉
ひるぜんこうげん 蒜山高原	岡山県真庭市	<ul style="list-style-type: none"> ・大山隠岐国立公園内の高原 ・日本最大のジャージー牛の育成地
ゆばらおんせん 湯原温泉	岡山県真庭市	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省より国民保養温泉地に指定されている ・近隣には、古墳時代より「たたら製鉄」の盛んであった史跡等が存在
うしまど 牛窓	岡山県瀬戸内市	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の朝鮮通信使の寄港地
こうらくえん 後楽園	岡山県岡山市	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を代表する大名庭園 ・日本三名園の一つで、文化財保護法による「特別名

主要観光地・施設	所在地	施設概要
		勝」に指定
さいじょういなり 最上稲荷	岡山県岡山市	・日本三大稲荷の一つで、国の登録有形文化財に登録
くらしきびかんちく 倉敷美観地区	岡山県倉敷市	・倉敷川畔の白壁の美しい町並みが、文化庁から伝統的建造物群保存地区に選定されている
とも うら 鞆の浦	広島県福山市	・周辺が「鞆公園」として国の名勝に指定、国立公園として最初に指定された地区の一つ ・江戸時代の朝鮮通信使の寄港地
おのみち 尾道	広島県尾道市	・「坂の街」、「文学の街」、「映画の街」として全国的に知られている
へいわきねんこうえん 平和記念公園	広島県広島市	・戦後完成した公園・庭園として初めて国の名勝に指定 ・原爆ドームがユネスコの「世界遺産」に登録
みやじま 宮島	広島県廿日市市	・日本三景の一つであり、社殿・廻廊とも国宝に指定 ・厳島神社がユネスコの「世界遺産」に登録

(3) 日本海観光ルート

<観光テーマ>

「日本の歴史・伝統を学び、美しい自然を巡る」

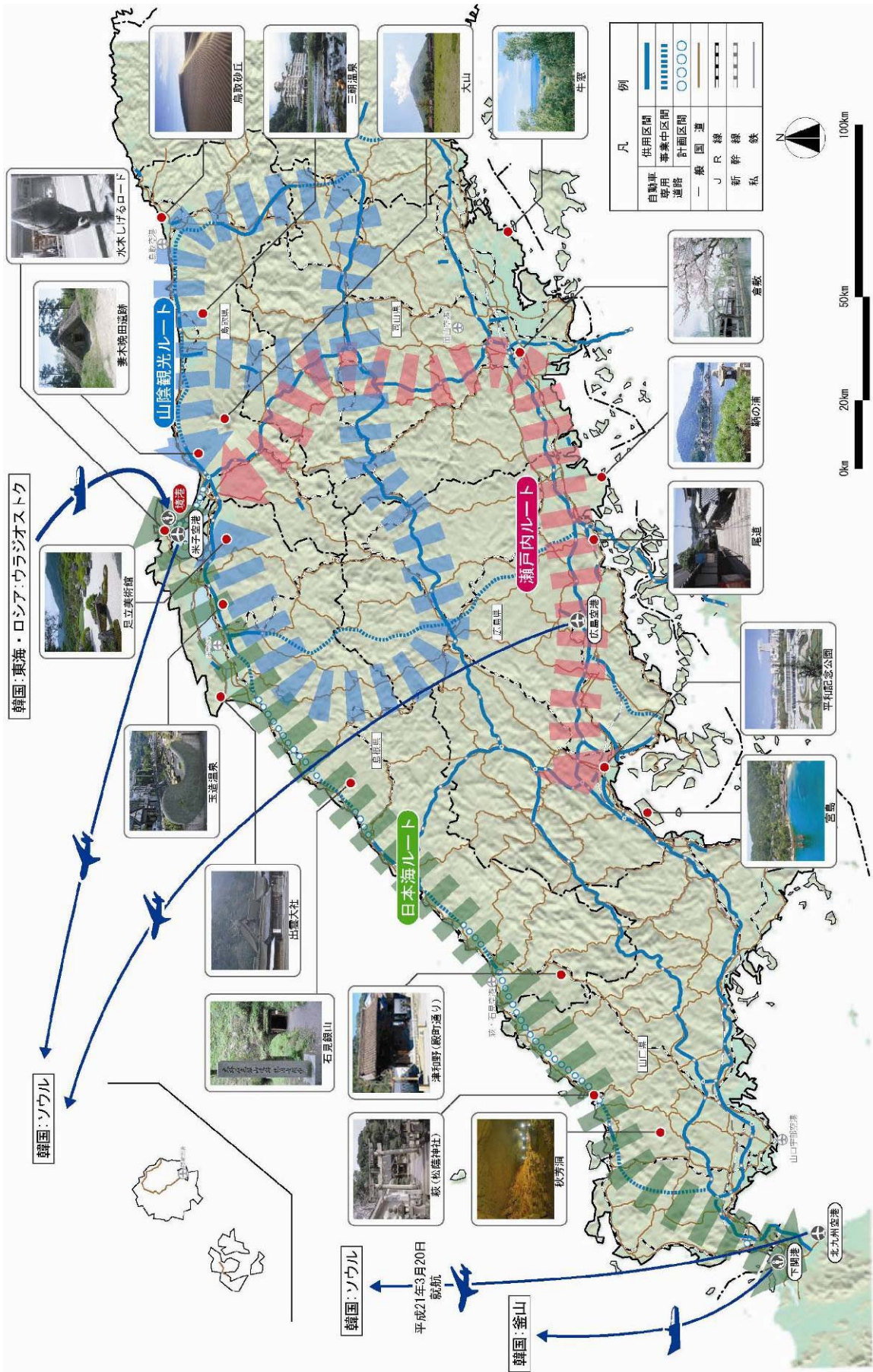
- ・世界遺産に登録された「石見銀山」をはじめ、日本最古の神社建築を誇る「出雲大社」などを巡り、日本古来の歴史を学ぶ。
- ・萩、津和野、秋芳洞、秋吉台などの歴史と自然を楽しむ。

<観光ルート>

東海(韓国) ⇒ 境港 ⇒ 出雲大社・玉造温泉(泊) ⇒ 石見銀山 ⇒ 萩・津和野(泊) ⇒ 下関 ⇒ (船舶) ⇒ 釜山

<ルート上の主要観光施設>

主要観光地・施設	所在地	施設概要
みずき 水木しげるロード	鳥取県境港市	・アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する妖怪たちのブロンズ像 130 体以上を展示
かいけおんせん 皆生温泉	鳥取県米子市	・観光旅館など 40 軒、5 千人の収容規模を誇る、山陰最大の温泉地
あだちびじゅつかん 足立美術館	島根県安来市	・枯山水庭を中心とする 5 万坪の広大な日本庭園 ・米国の専門誌の日本庭園ランキングで 6 年連続 1 位
まつえじょう 松江城	島根県松江市	・江戸時代以前建造の天守を有する城郭の一つ（日本に 12 箇所のみ） ・国の重要文化財に指定
こうぼう カラコロ工房	島根県松江市	・旧日銀松江支店を改装した製販一体型の工房で、様々な体験教室を有する
たまつくりおんせん 玉造温泉	島根県松江市	・奈良時代初期に開かれた日本最古の歴史を持つ温泉
いずもたいしゃ 出雲大社	島根県出雲市	・日本最古の神社建築を誇る ・国宝や重要文化財の指定を受けた施設を有する
ひのみさき 日御碕	島根県出雲市	・出雲日御碕灯台は、石造りの灯台としては日本一の高さを誇る
いわみぎんざん 石見銀山	島根県大田市	・戦国時代後期から江戸時代前期にかけて最盛期を迎えた日本最大の銀山 ・ユネスコの「世界遺産」に登録
はぎ つわ の 萩・津和野	山口県萩市 島根県鹿足郡 津和野町	・萩：幕末から明治維新にかけての史跡などが多く存在 ・津和野：山陰の小京都と呼ばれる山あいの城下町
ゆだおんせん 湯田温泉	山口県山口市	・山陽路随一の温泉街で、都市機能と観光街を併せ持った稀有な温泉地
あきよしどう あきよしだい 秋芳洞・秋吉台	山口県美祢市	・秋芳洞：鍾乳洞としては東洋最大規模を誇る ・秋吉台：日本最大のカルスト台地 ・ともに国の特別天然記念物に指定
しものせき 下関	山口県下関市	・古来より陸と海における交通の要衝として栄える ・計 3 航路という国内最多の国際旅客航路を有する



■ 広域観光ルート

3. 短・中長期戦略検討

3-1 アクションプログラム検討

3-1-1 短・中長期戦略

観光施策についても物流施策同様、一定の期間ごとの目標、チャンスににらんだ戦略として展開することが有効である。前項で述べた具体的施策を今後展開するにあたり、短・中長期ごとの戦略については次のとおり提案する。

平成20年秋以降の世界的な急激な経済環境の悪化で、貿易、観光も大きな変動を受けている。当面、この世界経済の縮小・停滞が続くと予想される中で、長期的展望が予測しにくい環境にある。

また、急激なウォン高による韓国人観光客の減少に現れるように、外部環境の変化に左右されやすい不安定要素もある。

そのため、当面は1年、1年状況を見ながら、柔軟に対応して、試行しながら、施策を見直して着実に進めていくことが重要である。

そのような中で、観光戦略としては、まずは厳しい経済環境の中で事業をスタートする新航路を維持することが第一優先であり、それを短期戦略として位置づける。

特にターゲットは韓国であり、山陰－韓国の教育旅行を中心に観光施策を展開する。

中長期は、短期の継続的発展としての観光交流の拡大が目標であり、中国圏が連携した一層の韓国との観光交流の拡大を中長期戦略と位置づける。

なお、ロシアについては、観光客の規模や観光マーケットも小さく、観光PR活動を中心に、新航路就航による効果を見ながら、観光施策の展開を図るものとする。

1. 短期戦略(1～3年スパン)

- 【目標】 : 新航路の利用客の確保・維持
- 【方向性】 : 山陰から韓国への海外研修旅行の確保
韓国からの訪日教育旅行の確保
韓国からの一般旅行の確保

2. 中長期戦略(3～5年スパン)

- 【目標】 : 新航路の利用客拡大による広域観光交流の実現
- 【方向性】 : 中国圏から韓国への海外研修旅行の拡大
韓国からの訪日教育旅行の拡大
韓国からの一般旅行の拡大
ロシアからの一般旅行の受入れ
人材育成
外国人観光旅行及び教育旅行情報の一元化

3-1-2 具体的施策の展開内容（アクションプログラム案）

短期施策としては、新航路就航にあたり、韓国人利用客の確保を目指した取り組みとして、受入れ態勢づくり、中国圏の認知度の向上、人材育成などソフト面を中心とした交流基盤をまず整える。

その後は、短期施策を継続しながら実績を積み重ね、中長期施策として、教育旅行対応商品の開発や受入れ態勢の充実、東海市と山陰の交流促進、日韓共同による観光開発、中国圏が連携した観光地の魅力づくりや観光情報で連携体制づくりに取り組んでいく。

具体的施策の展開内容は、表(1)及び(2)に示すとおりである。

表(1) 短期施策：貨客船就航機会を捉えた態勢づくりと積極的誘客

施策		21	22	23	24	25	事例等
短期	(1)受入れ地の態勢づくり						
	①外国人旅行者案内サービスの確保	→	→	→	→	→	・両替所、観光案内所、外国語表記の観光案内パンフ・標識、観光施設・宿泊施設での外国語放送導入、通訳ガイド、地域限定通訳案内士、外国語対応医療機関等、ホームページの充実
	②外国人旅行者の交通サービスの確保	→	→	→	→	→	・交通機関の乗継の利便性確保と外国人割引料金制度の新設等
	③団体旅行サービスの確保	→	→	→	→	→	・団体対応の食堂等整備、各国の風習・好みに対応した食事提供の工夫等
	④観光もてなしの意識啓発と普及	→	→	→	→	→	・外国語講座、外国人接客研修、あいさつ運動、外国料理レシピの普及等
	(2)訪日教育旅行の受入れ態勢の充実						
	①ホームステイ受入先の確保	→	→	→	→	→	・民間組織と連携したトライアルの実施等
	②日韓の教育旅行関係者の連携強化	→	→	→	→	→	・課題洗い出しの交流会企画等
	(3)訪日旅行先としての中国圏（特に山陰）の認知度の向上、積極的誘客						
	①観光プロモーション活動の促進	→	→	→	→	→	・韓国での教育旅行、一般旅行の説明会、観光展、商談会、関係者の招請等
	②韓国マスメディアの活用	→	→	→	→	→	・現地情報誌、インターネット、マスコミ等を活用した山陰観光PR等
	③日韓交流での山陰の先進性PR	→	→	→	→	→	・山陰からの韓国研修旅行の多さのアピール、日韓交流促進に貢献する学校交流・教育旅行のPR等
	④各県ホームページの連携	→	→	→	→	→	・各県韓国語HPでの教育旅行情報掲載等
	(4)大学等を活用した人材育成						
	①韓国と山陰の人材交流の促進	→	→	→	→	→	・交換留学の促進等
	②外国人観光客受け入れ宿泊施設と大学の交流促進	→	→	→	→	→	・大学生のインターンシップ制度を活用した人材教育等
	(5)フェリー利用の訪韓教育旅行の推進						
	①フェリー利用の教育旅行商品の充実	→	→	→	→	→	・フェリー利用の教育旅行商品の開発とPR促進等
	②教育旅行情報の連携強化	→	→	→	→	→	・県、学校関係者、観光旅行者、フェリー事業者等における教育旅行情報の共有化等
	(6)中国圏における観光情報データの調査収集と整備活用						
	①外国人観光客誘致のための実態調査の促進	→	→	→	→	→	・外国人観光市場調査、外国人観光客の観光消費行動調査、満足度調査、観光産業実態調査等
	②中国圏の外国人観光情報の一元化	→	→	→	→	→	・外国人観光情報プラットフォームの整備等

表 (2) 中長期施策：継続した取り組みによる観光地としての魅力づくり

施策		21	22	23	24	25	事例等
中 長 期	(1)中国圏(特に山陰の特徴を活かした魅力づくりと教育旅行商品の開発)						
	①山陰の独自性を追求した教育旅行商品開発の促進						・山陰独自の自然、歴史遺産の活用、大山、出雲大社、石見銀山等
	②山陽と山陰の多様な魅力を連携した教育旅行商品の充実						・広島平和公園、厳島神社、岡山後楽園、倉敷美観地区等
	③「交流」をキーワードにした多様な体験学習商品の開発						・自然・歴史・アニメ・平和-山陰海岸の地質遺産・大山・出雲・水木しげるロード・コナンの里・原爆ドーム
	④韓国からの渡来文化交流を活かした教育旅行商品の開発						・渡来人とたたら・古代神話ロマン、朝鮮通信使ゆかりの地等
	(2)訪日教育旅行の受入れ態勢の充実						
	①ホームステイと交流を通じたもてなしの充実						・ホームステイ組織の整備、宿泊施設、体験学習観光施設でのもてなし、学校間交流の拡大等
	②体験学習施設の情報共有化						・各県連携による体験学習施設情報サイトの構築等
	(3)フェリー利用の東海市・江原道と山陰の近い観光交流の促進						山陰文化観光圏の取組の活用
	①新たな観光ルート形成とプロモーション活動の促進						・山陰文化観光圏を中心とした多様な魅力を連携させた観光ルート開発等
	②山陰の観光資源の効果的な魅力演出						・韓流スター映画ロケ地の誘致、世界的著名性の獲得(足立美術館)、日韓ツーリング及びトレッキングの交流等
	③観光地の交通アクセス整備						・観光地が広域的に連携するための移動手段と高速道路の整備等
	(4)韓国と連携したロシアへ中国圏(特に山陰)の観光魅力を伝える取り組み						
	①ロシアへの観光PRの促進						・ロシアへ中国圏(特に山陰)独自の歴史、伝統文化の魅力を伝えるプロモーション活動等
	②ロシア航路を活かした観光PRの促進						・ロシア物流促進と連携して、山陰の食品や商品と関連する「本場」の伝統技術、生活文化等の地域の観光魅力の情報発信等
	(5)他圏域との広域観光連携の推進						
①四国圏、九州圏、近畿圏との連携による観光PRの促進						・他圏域との連携による瀬戸内海観光メニューの開発・観光PR	
②環日本海他圏域との連携による観光PRの促進						・環日本海他圏域との連携による日本海観光メニューの開発・PR	